

であらう。

現に東支本部は十二月五日各支部宛に日本交通従業員組合に關して此と題して、中裏切者四名を中心とする云々の攻撃文を發してゐる。

併し日本本部は、結成大会を終えて、十一月二十九日、その結成大会報告書を市會議員及市理事者宛に送附し、日本主義を高唱し、市電更生対策の一翼たらんとするの意氣を示した。

三十日の常任委員会に於ては、機關紙「交通日本新聞」の刊行、愛國機納基金募集の件、專向部長、組合旗号と決定した。其後組合内外の充實を圖つて、赤坂、神明町、青山、青山南町、巢鴨、柳島等に支部を設置した。

宣誓文、大会掲揚スローガン、綱領、大会議事項目（按記）を如し。

宣誓

我等ハ茲ニ日本交通従業員組合結成ニ際シ誠恐代誌謹而宣誓ニ奉ル。

我等ハ祖国日本ノ大精神ヲ體シ昭和維新ヲ漸行シテ萬世不易ノ

皇道ヲ中外ニ宣揚シ奉リ紀元二千五百九十六年ノ國際危局ニ當リ身命ヲ賭シテ皇國未曾有ノ國難ヲ打破シ新日本建設ヲ期ス

右宣誓ニ奉ル

紀元二千五百九十三年十一月二十三日

日本交通従業員組合

大会スローガン

- 一、皇道政治ノ徹底ト日本精神ノ發揚
- 一、資本主義機構ノ根本的革新
- 一、國家統制ニヨル交通産業ノ合理化
- 一、極左並ニ一切ノ非愛國運動ノ粉碎
- 一、日本交通従業員組合結成大会万才

綱領

- (一)、我等は建國の本義に則り皇道政治の徹底を期す
- (二)、我等は資本主義經濟機構の弊害を打破し國家統制經濟の實現を期す
- (三)、我等は日本精神を体し交通産業の國家的使命を達成し我等ノ國民的向上を期す